

件名	鷹栖東鷹栖比布線 地道債(交安)工事 環境調査 第1回ワークショップ
日時	2019年4月17日 10:00~12:00
場所	比布町役場 2F 会議室
出席者	旭川建設管理部：坂田主幹、辻本主査、飛弾野主任、本間技師 比布町(建設課)：大谷課長補佐、幸村係長、武田技師 パブリックコンサルタント株式会社：植田課長、村上主任技師 突哨山運営協議会：中村氏、澤田氏、塩田氏、寺島氏、桐氏、黒川氏
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突哨山運営協議会、比布町、旭川建設管理部、コンサルタントの担当者を交えた意見交換会</li> <li>・事業方針と昨年度調査結果の報告、事業への要望のヒアリング、及び今後の対応方針の協議</li> </ul>
協 議 内 容	<p>路線の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の連絡・安全確保を目的に、現町道の道道昇格、及び改良事業を北海道に対して10年以上前から要望している。(比布町)</li> <li>・突哨山周辺での保全活動記録から、植物に着目して事前調査を行っている。(旭川建管)</li> </ul> <p>工事予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概略設計段階であり詳細は未定である。着工まで早くても2~3年はかかる見通しである。(旭川建管)</li> <li>・線形や法面計画など今後分かった段階で提供いただきたい。(協議会)</li> </ul> <p>環境配慮方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、早春にカタクリの確認を実施する。(旭川建管)</li> <li>・カタクリについては比布トンネルで移植事例あり。事前に資料収集できると良い。(協議会)</li> <li>・事業地周辺は鬼斗牛山と突哨山を繋ぐ緑の回廊として重要である。そのため、貴重種の移植にとどまらず環境全般に配慮してもらいたい。(協議会)</li> <li>・伐開に伴い積雪や乾燥などの変化が予想されるため、微気象(風向・風力)の観測を行い、植生への中長期的な影響に配慮してもらいたい。常盤公園で風況調査の事例がある。(協議会)</li> <li>・自然保護は大事だが、基本は車が安全に通行できるかを検討するため、乾燥などについては通常、考慮していない。(旭川建管)</li> <li>・法面緑化では在来種の選定や外来種対策が重要である。特に、イタチハギやハリエンジュなどの外来種を導入することのないようにしてもらいたい。(協議会)</li> <li>・すきとり土の埋め戻しや地域性種苗の活用など取り得る方法はあるが、早期の緑化は難しい。(コンサル)</li> <li>・一時的に裸地化するが、将来的に植生が回復するように植樹などは可能と考えられる。(コンサル)</li> <li>・ヒグマ(H30)や小動物は日常的に往来しているため、ロードキル対策も検討してもらいたい。(協議会)</li> <li>・抜本的な事は出来ない。看板標識等で対応する。(旭川建管)</li> </ul> <p>環境調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算の中で優先的に植物調査を行っている状況である。(旭川建管)</li> <li>・微気象や動物(鳥類、昆虫)を含め、事前の基礎データ収集が重要である。項目や時期を網羅した環境調査が必要と考える。(協議会)</li> <li>・現段階では予算の都合上、すべてを網羅した環境調査は難しいが、最低必要な調査は検討する。何が最小限必要か教えてほしい。(旭川建管)</li> <li>・植物の調査及び微気象の観測は最低限実施してほしい。(協議会)</li> <li>・現在の仕様の範囲内で柔軟な対応は可能と考えられる。(コンサル)</li> <li>・突哨山の状況を踏まえ、エゾサンショウウオやニホンザリガニについては今後着目すべき。扇の沢ではホタルの生息も確認されている。高速道路建設時の配慮事例があるのではないかと。(協議会)</li> <li>・高速道路の環境配慮事例があるか調べてみる。(比布町)</li> </ul> <p>今後の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝的多様性の観点から、突哨山エリアへの移植は困難である。(協議会)</li> <li>・事業地付近での移植対応を基本とするが、出来ない場合の対応は。(旭川建管)</li> <li>・移植しても枯れる事があるのは理解している。移植する行為が大事。国道40号の工事(男山公園下)の際も移植をしている。(協議会)</li> <li>・カタクリの移植にとどまらず、生育環境の保全や環境変化を小さくする取組が重要。(協議会)</li> </ul>

- ・突哨山が地域を象徴する特異な自然環境である旨、了解頂きたい。また、上の人にも伝えて欲しい。(協議会)
- ・今回の事業について計画はあるが、決定では無い。今回話に上がった問題が解決するまで道道昇格は出来ない。
- ・調査結果の随時提供や、配慮・対策困難な場合に協議の場を持つなど、情報共有しながら事業を進めていきたい。(旭川建管)

現地視察について

- ・連休明けに現地視察を実施することで合意。(協議会7名程度)
- ・5月7日9時半に役場に集合し、現地に移動予定。